

第20回（令和7年度）

# 鶴岡市芸術祭参加公演総括表

【42公演47団体の実施報告のまとめ】

特定非営利活動法人鶴岡市芸術文化協会

# 目次

1. 鶴岡市芸術祭運営推進のための会議・実施結果 等	…………	1 ページ
2. 鶴岡市芸術祭賞受賞団体一覧	…………	2 ページ
3. 参加公演実施状況一覧	…………	3 ～ 5 ページ
4. 参加公演実施団体による反省点・感想と来年度への抱負・意見	…………	6 ～ 11 ページ
5. 各地域文化祭(協賛事業)実施状況一覧	…………	12 ページ
6. 各地域文化祭(協賛事業)の反省点・感想と来年度への抱負・意見	…………	13 ～ 14 ページ
7. 鶴岡市芸術祭参加公演数等の推移	…………	15 ～ 16 ページ
8. 記念事業など	…………	17 ページ

# 1. 鶴岡市芸術祭運営推進のための会議・実施結果等

## ❖NPO鶴岡市芸術文化協会 芸術委員会 (会場:アートフォーラム)

- ❖第1回 令和7年 6月11日(水) 午前11時～『芸術祭開催、開幕行事について』
- ❖第2回 令和7年 7月 9日(水) 午前11時～『芸術祭参加公演、協賛金および開幕行事について』
- ❖第3回 令和7年12月 9日(火) 午前11時～『芸術祭賞授賞団体の決定および閉幕のつどいについて』
- ❖第4回 令和8年 2月18日(水) 午前11時～『芸術祭の総括等について』

## ❖第20回鶴岡市芸術祭開幕行事 (式典・公演・石澤典夫氏 記念講演)

- ❖日 時 令和7年9月6日(土) 午後1時30分(開場1時)～午後3時50分 終了
- ・式典 午後1時30分～ ・公演 午後1時55分～
- ・石澤典夫氏記念講演 午後2時20分～
- ・作品展示(エントランス)
- ❖会 場 荘銀タクト鶴岡 大ホールおよびエントランス
- ❖入場者数 350名 ❖入場無料

## ❖第20回鶴岡市芸術祭閉幕のつどい(授賞式・懇親会)

- ❖日 時 令和7年12月20日(土) 午後3時～午後5時20分 終了
- ❖会 場 東京第一ホテル鶴岡 鳳凰の間
- ❖出席者数 132名

## ❖芸術祭賞選考委員会 (芸術祭賞選考委員19名)

- ❖委員長: 小林功
- ❖副委員長: 梅津芳春、五十嵐悦郎
- ❖委員: 佐藤よし子、佐竹美津子、布川美與子、岩松美代、阿部由利、齋藤健太郎、樋坂聡、柿崎泰裕、藤間静貴久、佐藤嘉男、高山千代子、田中芳昭、秋山かおる、村山智昭、榊原賢一

❖第1回選考委員会 令和7年 7月24日(木) 午後1時30分～ (アートフォーラム)

❖第2回選考委員会 令和7年12月 4日(木) 午後2時～ (アートフォーラム)

### ❖部門別小委員会

〈12月1日(月) 舞台部門邦楽(大衆芸能を含む)〉

邦楽、日舞、民謡・民舞、吟詠、洋楽、洋舞、演劇、大衆芸能

〈11月13日(木) 展示、茶道部門(民俗芸能部門含む)〉

美術、茶道、華道、文芸、民俗芸能

## ❖参加公演～特別参加含む～

- ❖参加公演数 42公演(県参加 26公演)
- ❖参加団体数 47団体(県参加 31団体)
- ❖参加人数合計 2,289名
- ❖入場者数合計 17,658名

## ❖協賛者・協賛金

- ❖協賛者数 546件  
(個人、企業、団体等)
- ❖協賛金合計金額 1,150,000円

## ❖協賛事業～5地域～

(藤島・羽黒・櫛引  
・朝日・温海)

- ❖参加人数合計 3,081名
- ❖入場者数合計 5,406名

## ❖芸術祭賞

### ❖大賞

- ミュージカル「世界一の水族館～加茂水族館物語～」公演  
〈主催: 出羽庄内市民ミュージカル若手塾〉

### ❖優秀賞(5団体) ～芸術祭参加公演順～

- 第55回錦心流琵琶鶴岡支部演奏会  
〈主催: 錦心流琵琶全国一水会鶴岡支部〉
- 一東書道会鶴岡支部畊雅会43周年かな書作展  
〈主催: 一東書道会鶴岡支部畊雅会〉
- 第62回各流派合同いけばな展  
〈主催: 鶴岡市いけばな4流派〉
- 第31回飛雲会展 〈主催: 書道研究 飛雲会〉
- 鶴岡土曜会混声合唱団第74回定期演奏会  
〈主催: 鶴岡土曜会混声合唱団〉

## 2. 鶴岡市芸術祭賞受賞団体一覧

※優秀賞・芸術祭参加公演順

	公演名	主催	代表 (※授賞当時)	部門	受賞理由
大賞	ミュージカル「世界一の水族館 ～加茂水族館物語～」公演	出羽庄内 市民ミュージカル若手塾	大井 卓磨	舞台部門	日本一小さな加茂水族館の辿った波乱の歴史。そのストーリー性、表現力、創造性が素晴らしく、感動的であった。社会問題、環境問題などを訴える児童に強い発信力があり、鶴岡人、村上龍男氏の人間描写に心揺さぶられる。美しく心温まるストーリーと舞台。「生きる」メッセージも織り込まれ、キャスト・スタッフが一丸となって創り上げたこの作品は、郷土を見つめ愛するきっかけともなるだろう。感動と大きなエネルギーが満席の会場を満たしていた。
優秀賞	第55回錦心流琵琶 鶴岡支部演奏会	錦心流琵琶全国一水会 鶴岡支部	市川 清治	舞台部門	会員の演奏に加え賛助出演もあり、長時間ながら楽しく聴くことができた。特に会員による「赤穂浪士」や「忠臣蔵物語」は、講談調の解説も入り、初心者にも分かりやすく、弾き語りの場面構成も見事であった。言葉をスクリーンに映し出す演出等、表現にも工夫が見られ、構成にも進歩が感じられた。伝統芸能の伝承性を考慮した取組みと、先賢に学び精神文化を高めようとするところざしに感動し、更なる精進を期待する。
	一東書道会鶴岡支部研雅会 43周年かな書作展	一東書道会鶴岡支部研雅会	阿部 畊雅	展示・茶道 部門	古筆を中心とするかな作品展。天皇、貴族から庶民まで幅広い人々が詠んだ歌を、仮名という日本独特の手法で表現し優雅で心地よい空間を創り出していた。また、変体かなを多用する作品において、読み方を付すなどの、観る人々への配慮が感じられた。かなは、漢字の基礎を学んだ後に習うことがほとんどで、習得には根気を要する。同会が子どもを対象にした教室を開催していることは、かな文化、書文化を次世代に受け継ぐ活動としても評価できる。
	第62回各流派合同いけばな展	鶴岡市いけばな4流派 小原流鶴岡支部 古流松應会庄内支部 草月会山形県支部鶴岡地区 池坊	担当 阿部 剛 (小原流鶴岡支部)	展示・茶道 部門	素敵で迫力ある迎え花に圧倒される。各流派それぞれに工夫があり、150点余りがディスプレイされている。各流派がその特徴を活かし、作品一点一点の芸術性が高く、こだわりや愛情が伝わってきた。また、流派ごとの思想や理念の違いを浮き彫りにしつつ、その中でお互いに個性を表現し、尊重し合う展示であった。一部、子どもの作品もあり、今後、次世代への繋がりも期待したい。
	第31回飛雲会展	書道研究 飛雲会	渡部 飛雲	展示・茶道 部門	城下町鶴岡の漢学、書道の伝統を受け継ぎ、極めんと研鑽を続ける会員の気魄とともに各会員が、楷書、行書、隷書、漢字かな交じり書など、広く学んでいることが伝わってきた。広い空間に力強い筆致で書かれた大字は、その大きさ以上の躍動感を感じさせ、一方優しい筆致の作品は、筆文字の美しさ優雅さを存分に表していた。特に、大字の金文は文字の源流、複雑性を表現するとともに、書の神秘性を醸し出し、観る人々を異空間に誘うようであった。
	鶴岡土曜会混声合唱団 第74回定期演奏会	鶴岡土曜会混声合唱団	佐藤 大吾	舞台部門	この日を待ち侘びた聴衆の期待を裏切らない、男女混声の響きの美しさ、多様なジャンルを歌い分ける技能、何より観客に歌声を届けようという情熱が込められた素晴らしいステージだった。観客が分かりやすい曲というより、合唱界でのスタンダード曲で構成されていた印象だが、それだけに土曜会として創り上げたいステージを見せてくれた公演であった。10代から70代まで幅広い世代が共に活動している稀有な合唱団の活躍に期待する。

### 3. 参加公演実施状況一覧

#### 第20回鶴岡市芸術祭特別参加団体公演

NO	公演名称	実施団体	公演日	会場	入場料	部門	所属	県参加	参加者数 (出品者数)	出品 作品数	入場者(延) 数	うち協賛者証 入場者数
特1	みんなの音楽会 「鶴岡放送児童合唱団定期演奏会」	鶴岡放送児童合唱団	11/2(日)	中央公民館	有料	洋舞	鶴岡	○	26	-	300	6
特2	モダンダンス公演 吉統舞踊学園発表会	吉統舞踊学園	11/16(日)	荘銀タクト鶴岡	無料	洋楽	鶴岡	○	30	-	700	10
特3	創立101周年・令和7年度 白甕社美術展(公募)	白甕社	8/27(水) ~9/7(日)	アートフォーラム	有料	展示	鶴岡	○	122	128	1,729	197

#### 第20回鶴岡市芸術祭参加団体公演

NO	公演名称	実施団体	公演日	会場	入場料	部門	所属	県参加	参加者数 (出品者数)	出品 作品数	入場者(延) 数	うち協賛者証 入場者数
1	第23回田川民話の会 語り市 “んだば、語てみっがのみどり町宿”	田川民話の会	9/6(土)	第6学区 コミュニティ 防災センター	無料	民俗 芸能	鶴岡		8	-	53	10
2	鶴岡ジュニアオーケストラ 第3回室内楽チャリティコンサート	鶴岡市管弦楽社会教育連盟	9/6(土)	中央公民館	有料	洋楽	鶴岡		45	-	130	20
3	第36回庄内なつメロ会 歌と踊りのチャリティショー	庄内なつメロ会	9/7(日)	中央公民館	有料	大衆 芸能	鶴岡		35	-	270	25
4	如月会水墨画展	如月会	9/10(水) ~9/15(月・祝)	中央公民館	無料	展示	鶴岡	○	14	50	246	
5	あつみ作品展	温海芸術文化協会	9/11(木) ~9/14(日)	温海ふれあい センター	無料	展示	温海		20	83	70	
6	フォトサロン写楽 写真展覧会	フォトサロン写楽	9/11(木) ~9/15(月・祝)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡		6	86	228	
7	第55回錦心流琵琶鶴岡支部演奏会	錦心流琵琶全国一水会 鶴岡支部	9/14(日)	中央公民館	無料	邦楽	鶴岡	○	11	-	150	40
8	第59回さゞ波会民謡と舞踊のつどい	民謡・民舞 さゞ波会	9/20(土)	中央公民館	無料	民謡・ 民舞	鶴岡	○	19	-	132	6
9	レーヴ・バレエスタジオ 第2回 Ballet recital	Reve・Ballet studio	9/21(日)	荘銀タクト鶴岡	無料	洋舞	鶴岡	○	5	-	180	5
10	一東書道会鶴岡支部畊雅会 43周年かな書展	一東書道会鶴岡支部 畊雅会	10/3(金) ~10/5(日)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡		12	34	182	5
11	遠州流茶会	遠州流茶道山形支部	10/5(日)	アートフォーラム	有料	茶道	鶴岡		60	-	270	22
12	第63回鶴岡市合同短歌会	第63回鶴岡市合同短歌会 実行委員会	10/8(水)	鶴岡市立図書館	有料 *読書集代	文芸	鶴岡	○	43	-	38	

NO	公演名称	実施団体	公演日	会場	入場料	部門	所属	県参加	参加者数 (出品者数)	出品 作品数	入場者(延) 数	うち協賛者証 入場者数
13	表千家流茶会	表千家同門会 山形県支部庄内地区	10/12(日)	出羽庄内国際村	有料	茶道	鶴岡		20	-	212	19
14	表現舎刻一刻 東北座長公演	表現舎刻一刻	10/12(日)	荘銀タクト鶴岡	有料	演劇	鶴岡		32	-	625	20
15	山琴箏会第37回公演「協 ~かなう~」	山形県大正琴・文化箏愛好会	10/13(月・祝)	中央公民館	無料	邦楽	鶴岡	○	67	-	350	6
16	第62回各流派合同いけばな展	鶴岡市いけばな4流派	10/18(土)・19(日)	アートフォーラム	有料	展示	鶴岡	○	129	126	2,095	55
17	羽黒芸術行路(はぐろげいじゅつこうろ)	羽黒・芸術の森 運営会議	10月19日(日) ~11月24日(月・振休)	今井アートギャラリー	有料	展示	※ 非加盟		14	17	245	9
18	第5回佳興の会公演	佳興の会	10/19(日)	佳興堂 (庄内能楽館鶴岡教室)	無料	邦楽	鶴岡		4	-	30	5
19	第30回庄内写真研究会写真展	庄内写真研究会	10/22(水) ~10/26(日)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡	○	5	43	650	2
20	第93回つるおか小品盆栽展	鶴岡小品盆栽会	10/23(木) ~10/25(土)	中央公民館	無料	展示	鶴岡		12	103	310	5
21	第31回飛雲会展	書道研究 飛雲会	10/23(木) ~10/26(日)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡	○	20	40	400	
22	朝日俳句・短歌・川柳合同展	朝日俳句の会	10/24(金) ~11/3(月・祝)	朝日中央 コミュニティセンター	無料	文芸	朝日		173	196	1,300	
23	荘内金管合奏団 秋の公演2025	荘内金管合奏団	10/25(土)	アートフォーラム	無料	洋楽	鶴岡	○	5	-	70	2
24	裏千家秋の茶会	裏千家淡交会 庄内支部鶴岡地区	10/26(日)	荘内神社 参集殿ホール	有料	茶道	鶴岡		30	-	230	
25	日本九重流鶴城清吟会 第49回吟詠大会	日本九重流鶴城清吟会	10/26(日)	中央公民館	無料	吟詠	鶴岡	○	70	-	150	80
26	宝生流・観世流合同謡曲大会	宝生流鶴岡五雲会 庄内謡曲愛好会	10/26(日)	黒川能伝習館	無料	邦楽	鶴岡	○	16	-	35	4
27	Doyouフォト教室写真展	Doyouフォト教室	10/29(水) ~11/3(月・祝)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡	○	10	40	314	
28	SHONAI LIGHT MUSIC LIVE2025 Make Friends	鶴岡軽音楽クラブ	11/1(土)	中央公民館	無料	洋楽	鶴岡		12	-	50	15
29	第35回庄内水彩展	庄内水彩画会	11/5(水) ~11/9(日)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡	○	14	65	509	25
30	第16回写団はぐろ会員写真展	写団はぐろ	11/6(木) ~11/9(日)	アートフォーラム	無料	展示	羽黒	○	4	40	375	11
31	第77回庄内書道展覧会	鶴岡書道会	11/7(金) ~11/9(日)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡	○	820	820	1,200	

NO	公演名称	実施団体	公演日	会場	入場料	部門	所属	県参加	参加者数 (出品者数)	出品 作品数	入場者(延) 数	うち協賛者証 入場者数	
32	劇団だいこん座 第82回公演 「川のほとりは今日も静かで」	劇団だいこん座	11/8(土)	中央公民館	有料	演劇	鶴岡	○	20	-	172	34	
33	ハウオリフラスタジオ20周年記念公演 Me Ke aloha pumehana ～心から愛を込めて～	ハウオリフラスタジオ	11/9(日)	荘銀タクト鶴岡	有料	洋舞	鶴岡		76	-	400		
34	ミュージカル 「世界一の水族館～加茂水族館物語～」公演	出羽庄内 市民ミュージカル若手塾	11/23(日・祝)	中央公民館	有料	演劇	鶴岡	○	14	-	405	54	
35	鶴岡剣聖会「剣と扇の舞」	剣聖流剣詩舞鶴岡剣聖会	11/24(月・振休)	中央公民館	無料	吟詠	鶴岡	○	30	-	200		
36	鶴岡土曜会混声合唱団 第74回定期演奏会	鶴岡土曜会混声合唱団	11/29(土)	荘銀タクト鶴岡	有料	洋楽	鶴岡	○	80	-	890	35	
37	スイング・クレインズ・ジャズ・オーケストラ 第25回定期演奏会	スイング・クレインズ・ ジャズ・オーケストラ	11/30(日)	荘銀タクト鶴岡	有料	洋楽	鶴岡	○	23	-	700	30	
38	第23回バウムクーヘン オータムコンサート2025	バウムクーヘン	12/6(土)	荘銀タクト鶴岡	無料	洋楽	鶴岡	○	73	-	541	10	
39	鶴岡吹奏楽団 第40回定期演奏会	鶴岡吹奏楽団	12/7(日)	荘銀タクト鶴岡	有料	洋楽	鶴岡	○	60	-	522	6	
<b>実施参加公演・団体 【42公演・47団体】</b>													
								<b>R7年度 第20回 合計</b>	<b>26</b>	<b>2,289</b>	<b>1,871</b>	<b>17,658</b>	<b>773</b>

公演名称	公演日時および会場	出演・内容等	入場者 (延)数
第20回鶴岡市芸術祭開幕行事	<p>◇9月6日(土)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・式典 午後1時30分(開場 1時)</li> <li>・公演 午後1時55分～</li> <li>・石澤典夫氏記念講演 午後2時20分～午後3時50分 終了</li> </ul> <p>◇荘銀タクト鶴岡 大ホール (式典・公演・石澤典夫氏記念講演) エントランス (作品展示)</p> <p>※入場無料</p>	<p>【公演】 鶴岡土曜会混声合唱団</p> <p>【記念講演】 講師 石澤 典夫 氏 (フリーアナウンサー、元NHKエグゼクティブ・アナウンサー) 講演テーマ 「芸術文化との出会いが人生を豊かにする」</p> <p>【展示】 鶴岡和紙ちぎり絵サークル 書道研究 飛雲会 スタンドグラス“光彩” Doyouフォト教室 庄内水彩画会 藤彩色葉会</p> <p>【華道】 小原流鶴岡支部</p>	<b>350</b>

#### 4. 参加公演実施団体による反省点・感想と来年度への抱負・意見

※公演内容は芸術祭参加申込み時点での予定であり、実際の公演内容とは異なる場合があります。

【第20回鶴岡市芸術祭公演一覧プログラム掲載順】

##### 第20回鶴岡市芸術祭特別参加団体公演

No.	公演名称	公演内容	実施団体	今年度実施しての反省点・感想	来年度への抱負・意見
特1	みんなの音楽会 「鶴岡放送児童合唱団定期演奏会」	I「歌の花かご」小品集 II「ドラゴンソング」同声合唱とピアノのための組曲 III 合唱劇「春、春、春だよ」	鶴岡放送児童合唱団	小学校3年生から中学校3年生までの団員26名に卒団生4名が加わり、小品を編成の違いで表現し、2部の「ドラゴンソング」は、全員で力強く歌い上げる事ができた。3部は、子ども達の純粋で晴れやかな音楽劇が場内の観客を魅了した。子ども達の歌声に未来を感じる演奏会だった。	来年は、創立80周年を迎える。80周年に相応しいスケールの大きいステージとなるよう、創意工夫したい。
特2	モダンダンス公演 吉統舞踊学園発表会	鶴岡酒田両教室の生徒、子供から大人まで心ひとつに舞台を創る モダンダンスの良さを充分に舞台を創る	吉統舞踊学園	おだやかな天気恵まれ、お客様にとって、お出でいただく事に心配が無く有難かった。インフルエンザの流行で学校閉鎖があったりして、子供達の観客が少なかった事が残念であった。健康第一が大切だと改めて実感した。	出演者は、子どもから大人まで、全員元気に全力を出し切って舞台を務める事ができ、心身ともに健康である事の「幸」を思った。舞台を立派に創り上げる事ができ、この上ない幸せな一日となった事に感謝し、今後の舞台創りに繋げていきたいと思う。
特3	創立101周年・令和7年度 白叢社美術展(公募)	種 目:日本画・洋画・版画・彫刻・工芸 特別展示:「白叢社創立のリーダー・野坂是勇の世界」10点 展示合計(約160点)	白叢社	100周年の節目を終了し、歴史の重みをかみしめ次世代の活躍へスタートした機会であった。創設のリーダー野坂是勇氏の作品特別展示・HPの充実・「オーディエンス賞」の贈呈等、新たな企画も実施した。一方で、残念ながら今年の夏の猛暑は、出品者数・入場者数ともに減少という厳しい影響を受けた。	少子高齢化・異常気象等、多難な時代ではあるが歴史を紡ぎ、より愛される白叢社として切磋琢磨していきたい。今年、100周年の子ども関連事業を継続し「白叢社こども部創設」を告知したので、来年度は、より具体的に取り組んでいきたい。

##### 第20回鶴岡市芸術祭参加団体公演

No.	公演名称	公演内容	実施団体	今年度実施しての反省点・感想	来年度への抱負・意見
1	第23回田川民話の会 語り市 “んだば、語てみっがのみどり町宿”	地元で伝わる昔話・四季折々の話・懐かしいと思える昔話を庄内弁を交えて語る	田川民話の会	今年度は、語り宿と、芸術祭開幕行事の開催日が同日となった。御来場年令層は、50代～90代で、友達、親子連れが見られた。日頃の生活でも使わなくなった土地言葉…。語り手の話を聞きたくて、紙芝居を見たくてやって来たとの声も聞かれた。第6コミセン研修室は緑豊かな植物に囲まれ、聞き手も笑ったりうなづいたり、語り手も心豊かに語り、みどり町宿を終了することができた。	語り手の時間厳守、次の語り手に迷惑を掛けないように…などの自己配慮等をしなが、各々が自身のある演題をもって実施したい。
2	鶴岡ジュニアオーケストラ 第3回室内楽チャリティコンサート	鶴岡ジュニアオーケストラ、鶴岡バイオリンサークル合同、子ども達のソロ・アンサンブル中心のコンサート	鶴岡市管弦楽 社会教育連盟	大視聴堂の照明が暗く、演奏者にとって楽譜が読みづらいのが難点であった。また、参観者が予想より多く、参観席をコンサート前のわずかな時間に増やすのが大変な手間であった。	今までの反省点をもとに、来年度は中央公民館のホールで実施する計画である。環境効果や演奏隊形等、新たな場所でコンサートを行うのは、様々な課題が出てくる事が予想されるが、鶴岡市の音楽文化の発展・振興のため、関係者一同心を合わせ、知恵を出し合って、良いコンサートを創り上げていきたい。
3	第36回庄内なつメロ会 歌と踊りのチャリティショー	会員13名、昭和道の歌を唄う。2部は「日本列島北から南歌の旅」の企画 園児による剣舞、念珠開辨天太鼓等も予定	庄内なつメロ会	36回の発表会を終え、どこの会でも共通の悩み、会員の高齢化とお客様の高齢化であると実感。本来のなつメロの定義は、SPレコードをなつメロというが、会員自体もそれを認識していないのが現実…。本来の「なつメロ」を復活していきたい。	最近、テレビなどでは若手の歌手が、綺麗な歌詞とメロディのなつメロを歌う機会も目にする。会としては、今後、どのような方向性でやって行くのか等、大いに話し合いをし、改革できれば良いと思う。

No.	公演名称	公演内容	実施団体	今年度実施しての反省点・感想	来年度への抱負・意見
4	如月会水墨画展	水墨画独特の「濃淡」「にじみ」「ほかし」の技法で墨一色による幽玄の世界を約50点展示する	如月会	出品点数は過去最高で、屏風、掛軸4～50号、色紙等合計50点で、ジャンルは、山水・風景が多く、次に花・静物・人物であった。展示日数は、例年より2日増としたが、入場者数は僅かに減少の246名となった。今回も写真集を作成し記録に残した。	常に基本に立ち返って、会員の相互交流・研鑽を積み、内容の充実に努め、水墨画を始めたい人へ入会を勧める活動も実施して行きたい。
5	あつみ作品展	絵画、陶芸、写真、生け花等の展示	温海芸術文化協会	会員の創作活動の成果を発表する場として今年度も開催。作品を通して地域の方が、芸術文化に触れる機会をつくる事ができたと思う。参加者数・作品数・来場者数が昨年より減少したため、事業内容を見直していきたい。	作品を楽しみ芸術文化を身近に感じてもらう、親しみやすい作品展にしていきたい。また、芸術文化活動をもっと知りたい、やってみたくと思われるような発展の輪が温海地域で広がるきっかけに出来たらと思う。
6	フォトサロン写楽 写真展覧会	6名の会員の写真作品と故 岡崎利男氏の遺作品合わせて約80点を展示する	フォトサロン写楽	日程的に芸術祭が始まったばかりと暑さが続いている中で、来場者が心配であった。しかし、他団体の催しと相まって、多くの皆さまから見ていただく事ができた。	作品の展示位置を、より入口付近からスタートし、また紹介文は目立つようにする等、展示方法を工夫していきたい。岡崎氏の遺作品展示を、もっと見たいとの声もある。作品展示にメリハリを付け、全倍写真も展示したい。来年度も芸術祭へ参加できる事を楽しみに作品創りに取り組んでいきたい。
7	第55回 錦心流琵琶鶴岡支部演奏会	錦心流薩摩琵琶の演奏。「忠臣蔵物語」を当会員6名が講談調の解説で6曲、本部近県支部会員の演奏5曲でお届けする	錦心流琵琶全国一水会 鶴岡支部	初めての企画として、忠臣蔵の物語を琵琶語りし、解説を講談調に語ったところ、互いこうまく融合し内容も濃くなり良かった。また、公演開始前の1時間で、ホール入口前に琵琶を並べてワークショップを実施した。来場者に興味を示してもらえる機会となった。	単独の楽器の演奏だけでなく、他の種類の楽器とのコラボレーションや、言葉口調のコラボレーションを取り入れたりなど、幅広い演奏を考えていきたい。琵琶の解説に講談を取り入れた演出は相性が良かったので、今後も続けていきたい。
8	第59回 さゞ波会民謡と舞踊のつどい	会員10名による民謡等の披露	民謡・民舞 さゞ波会	今年の公演は、民謡19曲、舞踊7曲の内容での公演であった。舞踊の方々からは、自ら進んで引き受けていただき感謝しております。民謡については、最近聴きに来て下さる方が減少気味だが、長く続けていく事で客足につながると思うので、今後に期待していきたい。	今後は、各位練習を重ねレパトリーを増やし、公演の内容を広げていきたいと思う。
9	レーヴ・バレエスタジオ 第2回 Ballet recital	パ・ド・ドゥや各コンクール受賞曲やヴァリエーション等	Reve・ Ballet studio	今回、鶴岡市では初開催、出演者も少なく多くの来場も期待していませんでしたが、予想をはるかに上回る来場者の数に改めて鶴岡市民の皆さまの芸術への関心の高さを感じた。次回は、もう少し大きな会場で行いたいと思う。	今年の経験を活かし、次回の開催に向けて出演者数を増やすため、会員募集等の周知活動に力を入れていきたい。また、日々の練習へも、より一層励んで参ります。
10	一東書道会鶴岡支部 43周年かな書作展	1.2尺×6尺:2点 2.帖:1点 3.半切:7点 4.半紙:21点 5.卷子:2点 6.半懐紙額:1点 (合計34点)	一東書道会鶴岡支部 俳雅会	年賀状を筆で描いてみたい…という要望を受けて始めたこの書道会も、いつの間にか43年以上も途切れる事なく続いているという感慨に浸っているところです。今後も、仮名も漢字も頑張る生徒たちの指導を続けて参りたいと思います。	教室の生徒たちの前向きな姿に、私も、素晴らしい作品が出来上がりますように…と心身共にはりきって行ければと思っています！今度は、「全壊紙作品にも挑戦してもらいたいなあ」というつぶやきに反対の声はなかったのです！
11	遠州流茶会	薄茶 二席	遠州流茶道山形支部	芸術祭参加の際は、大勢のお客様が来場のため、駐車場と待ち時間が心配であるが、今年はタクトの公演と重ならず、ご来場の皆さまに、ご不便を掛けずに済んだようであった。会員券の方、また、馴染みのない方も入場いただけ良かった。	茶会に適して駐車場も確保できる会場があれば良いのと思う。芸術祭の時は、日時の調整もあり、会場費の優遇もあり開催できるが、一般家庭に床の間や畳がないという場合も考えると、上記のような施設が欲しいと思う。

No.	公演名称	公演内容	実施団体	今年度実施しての反省点・感想	来年度への抱負・意見
12	第63回鶴岡市合同短歌会	市民並びに庄内一円の短歌愛好者による合同の歌会を開催する	第63回 鶴岡市合同短歌会 実行委員会	酒田在住の歌人「村上秀夫氏」をお迎えしての合同短歌会を無事終了した。出詠の一首一首に丁寧な歌評をいただき、講演会では、日々の営みの中から生まれた言葉を大切にしている作歌の話は興味深かった。	準備期間は長かったが、その割に準備不足な点があったので改善し、今後の歌会を開催していきたい。
13	表千家流茶会	表千家流茶会 一席「高橋宗利」 二席「武田宗令」	表千家同門会 山形県支部庄内地区	今回、会場を出羽庄内国際村にして初めての茶会であり、朝から雨模様で、お越しいただけるか心配したが、たくさんの来席をいただきました事に感謝申し上げます。 茶室のしつらえ、安心安全な茶会の難しさを感じるとともに、運営において至らぬ点多々ありました事をお詫び申し上げますとともに、今後に生かしていきたいと思う。	茶道を習う人の減少、高齢化や抹茶の品不足や高値など茶道を取り巻く状況は厳しくなっています。茶会に興味を持てる人が一人でも多くなるよう、今後も伝統文化を守りながら楽しんでいただける茶会に行きたいと思う。
14	表現舎刻一刻 東北座長公演	東北の各地より新舞踊の座長等を招聘し50演目を予定 刻一刻は舞踊劇等7演目を上演する	表現舎刻一刻	今年度は表現舎が所属している、新・東北新舞踊協会との合同公演として参加させていただきました事に感謝申し上げます。照明・音響等機材費が大きく掛かるので限界を感じている。	来年は通常公演に戻り、第22回定期公演となる。現代公演と大衆演劇公演と、一年ごとに変わり上演しており、多様な活動は大変なところもあるが、出来るだけ創作的な作品をつくり上演していきたいと思う。
15	山琴箏会第37回公演 「協～かなう～」	テーマは「協～かなう～」 全6ステージ 誰もが弾ける文化箏や大正琴の楽しさを物語として綴る	山形県大正琴・ 文化箏愛好会	一年掛かりで臨む市芸術祭参加は、ひとつの目標となっている。大正琴・文化箏を通して日本の伝統文化の良さを、こども達に伝えていける事は、何よりの喜びです。応援いただいた大勢のお客様に感謝申し上げます。	来年度公演のテーマは「翼～つばさ～」 どこまでも続く大空、やさしく寄り添う雲・・・ゆっくりと流れるような雲のように私達も道は、まだまだ続きます。大正琴・文化箏のアンサンブルをお楽しみに！
16	第62回各流派合同いけばな展	鶴岡市の華道4流派でそれぞれの持ち味を出して展示する 出瓶数約130名の予定	鶴岡市いけばな4流派	昨年からの改善として2階の展示を入口に近いスペースに変更した。これにより、来場者がストレスなく鑑賞できたと思う。会場構成も各流派が展示方法を工夫し、各流派の特徴豊かな作品を展示する事ができた。	昨年からの2流派減となり、出瓶者が減少傾向にある。来場者に「やってみたい！」と感じていただけるような魅力ある花展になるように、参加流派で協力していきたいと思う。
17	羽黒芸術行路 (はぐろげいじゅつこうろ)	今井繁三郎が残した「羽黒・芸術の森」の空間や今井の足跡に魅せられた若手作家たちによる平面・立体作品の競演	羽黒・芸術の森 運営会議	毎年秋に企画展を行ってきたが、市内から離れた立地・知名度不足などで思うような集客がなく、多くの方から知っていただきたい思いで、今年初めて鶴岡市芸術祭に参加させていただいた。お陰様で、初来場の方が数多くいた一方、企画が多かった事でイベントを堪能していただけなかった面が反省される。	1ヶ月余りの展示期間、2回のギャラリートーク、5回の音楽イベントと企画が盛り沢山だったので、もう少しイベントを絞り込み、集中して告知・来場を呼びかける必要を感じている。参加作家をもっと増やし、美術展として絵画・立体・映像など多岐に渡る分野で来場された方を楽しませられるよう、しっかり企画を練っていきたい。
18	第5回佳興の会公演	尺八・琵琶・三味線などの邦楽器による演奏、他7ジャンルによる共演など	佳興の会	今回はメンバー全員揃って開催する事ができた。毎回演奏を楽しみに来てくださる方が沢山おられる事は有難いことです。琵琶と尺八、長唄三味線の現代邦楽に加えて、今回のゲストに、山琴箏会奏隊(さきそうかいかなえたい)のお二人の演奏も好評であった。	これからも会員それぞれの精進により、喜ばれる演奏と会の継続、ライブの開催を行っていききたいと思う。

No.	公演名称	公演内容	実施団体	今年度実施しての反省点・感想	来年度への抱負・意見
19	第30回庄内写真研究会写真展	参加会員5名で、1人5点から10点、半切から全紙までの作品を展示する	庄内写真研究会	今年度は30回目と節目の年にあたり、会員各自が一段と研鑽に励み、それぞれの課題に取り組んだ。四季に渡る大自然の風景を独自の視点で撮った作品43点は、観覧者の民さんに熱意と感動を伝える写真展となり、大好評を賜り盛況に終了する事ができた。	来年度は31回目となり、各自が初心に立ち返り、一段と研鑽に励み独自のテーマに挑戦し、独創的・個性豊かな作品創りに精進したいと思う。
20	第93回つるおか小品盆栽展	樹高20cm以内の盆栽(松柏・実物・葉物・草物)を飾り台に約100点配置して秋の風情を表現する	鶴岡小品盆栽会	これ以上ない展示室に盆栽を飾る事ができ、楽しい展示会になった。子供同然の、我が盆栽がスポットライトを浴び輝いていて晴れ舞台をつとめたと思う。大勢の来場者からも好評を得られ、嬉しく思った。	当会の活動のうち、最も重要な月例勉強会を、もっと充実させたい。それが展示品にも反映される事と思う。盆栽は年寄りの趣味の観念ではなく、老若男女誰でもできる楽しい趣味として広めたい。
21	第31回飛雲会展	会員による書作品の1年間の研鑽の成果を発表する	書道研究 飛雲会	昨年、第30回目の大きな節目を終え一段落した今回は、特にテーマを設けず、日頃あためていた詩文や自己啓発を題材とした作品も多く見られ、文字の歴史を踏まえた内容には手応えを感じた展示会であった。	回を重ねるごとに作品形成に幅が出てきているので、会員相互の良い刺激になっている。今後は、まだ経験した事のない書体に果敢に挑戦してもらいたい。
22	朝日俳句・短歌・川柳合同展	俳句・短歌・川柳の作品展示	朝日俳句の会	俳句部門においては、小中学生のほぼ全員から出品があった。なお、川柳は出品数が減少傾向にあるので、参加者の拡大が必要と考える。俳句178点、川柳18点で、趣向を凝らした作品が多かった。	今後も小中学生からは数多く出品してもらえよう各学校と連携していくとともに、今まで以上に俳句等に親しんでもらえるよう、児童生徒への指導も行っていきたい。また、会員一同より一層の研鑽に励んでいきたい。
23	荘内金管合奏団 秋の公演2025	地元の金管楽器奏者らによる室内楽団の定期公演 古典から現代まで幅広い時代の曲を演奏する	荘内金管合奏団	今回は金管五重奏の編成で、吹奏楽作品や古典などの楽曲を演奏。どの曲もレベルが高く、練習通りに上手いかなかったところもあったが、本番ではベストの演奏ができた。多くのお客様からご来場いただき、盛況のうちに終了することができ、演奏する者として至上の喜びとなった。	もっと多くの方々から金管アンサンブルについて興味を持っていただけるように活動内容をSNSなどで発信し、団員の演奏精度・音楽性の向上を目指す。 解りやすい企画・コンセプトにてお客様と楽しい時間を共有できるようにしたい。
24	裏千家秋の茶会	濃茶(各服)一席 薄茶一席	裏千家淡交会 庄内支部鶴岡地区	荘内神社の紅葉を眺めつつ、静かな雨音に包まれながら濃茶・薄茶を楽しみ、230名の来客と共に、季節の移ろいが感じられ、心に残る茶会となった。多くの皆さまと秋のひと時を分かち合えたことに感謝です。	これまで茶道経験者を中心に催してきましたが、来年はより開かれた茶会として、多くの方に茶の楽しさを伝えていき、また、気軽に立ち寄れる場づくりに努めていきたいと思う。
25	日本九重流鶴城清吟会 第49回吟詠大会	歌謡吟詠、民謡吟詠を取り入れ 礼と節を重んじた構成吟で表現する	日本九重流鶴城清吟会	今年の大会は、来年の50周年に向けてのプレ大会という事で、身内で楽しい大会となるよう計画し開催した。オープニングの念珠・関辨天太鼓の演奏が迫力があり、観覧者の方々にとっても好評であった。反省点としては、閉会式のざわつきが不評であった。	来年、3年計画で取り組んできた50周年の記念公演となる。県外からの招待者等もお迎えしたりと一段と内容も濃くなり、現在、いろいろと準備を進めている。当会会員は、現在、最大数の1/3余りの会員数となったが、会員一同一丸となって、来年度に向けて取り組んでいきたい。

No.	公演名称	公演内容	実施団体	今年度実施しての反省点・感想	来年度への抱負・意見
26	宝生流・観世流合同謡曲大会	能楽の宝生流・観世流各団体による、謡曲・仕舞・お囃子などの合同発表会	宝生流鶴岡五雲会 庄内謡曲愛好会	黒川能伝習館の能舞台は発表の場にもってこいですが、市内から遠く、バスも無く、会場に行きたいが行けない…と言われると非常に残念な思いであった。今回、道に迷い辿り着けなかったという方も居たようだ。「観客を増やすには…？」が、悩み・課題である。	現在、3団体で開催しているが、参加団体を増やし、アクセスが良い場所での開催が理想ではあるが、現実的には難しい。今後、「一人でも若い観客を増やし、伝統文化に興味を持ってもらえるようにするには…？」を考えて行く。
27	Doyouフォト教室写真展	受講生の作品44枚を展示。各受講生がそれぞれ感じた「花」の写真を共通テーマとして38枚の写真を壁一面に展示	Doyouフォト教室	Doyouフォト教室に改名して初めての写真展であった。受講生が肌で感じた場面を切り取り、1枚の作品として展示した。共通テーマの「花」は多くの方に喜んでいただいた写真展となった。	写真展に来場いただいた方々からのご意見・ご希望も参考にして、喜びや感動を与える写真展にしていきたいと思う。
28	SHONAI LIGHT MUSIC LIVE2025 Make Friends	地域に数多くいるPOP演奏者の発表・交流・レベルアップの場を企画して軽音楽を多くの人に親しんでもらう	鶴岡軽音楽クラブ	半年ほど前に会場の空きがあり急遽企画した。限られた準備期間にあつて出演者の実力にこだわり過ぎた結果、開催断念を一端は考えた。しかし芸文協事務局担当者の方の励ましもあつて、何とか開催できた。規格外にしたものの開催できて良かったと思っている。	まだ規模の小さな会であり、軽音という表現形態からくる開催場所選定の難しさもあつて、来年度開催も容易ではないと感じている。しかし、反省を生かして愛好者の多い軽音の発表の場を充実させていきたいと思っている。
29	第35回庄内水彩展	会員による水彩画展	庄内水彩画会	会員14名と高校生とで、合計67点の作品を展示することができた。入場者数は5日間で507名。今回は東京都美術館で開催された日本水彩展に入選した8名8点の作品も展示でき良かった。	来年度は庄内水彩画展を公募展にしたいと考えている。水彩画が、より一般の方々に広がっていく努力をしていきたいと思う。
30	第16回写団はぐろ会員写真展	自然の風景や色々な出会いとの光景を各自の視点で撮りまとめた作品を発表する	写団はぐろ	今年も4人での写真であったが、作品数は昨年より多く、各自の視点で撮影したバラエティに富んだ写真を観て、感動していただければ幸いです。会員一同、次回への意欲が湧いた写真展となった。	会員写真展が無事終了し、来年度も「やまぶし温泉・ゆぽか」「羽黒庁舎ロビー」「羽黒芸術文化祭」「鶴岡市芸術祭(AF)」にて写真展を開催する予定。各自の意気込みに期待している。
31	第77回庄内書道展覧会	幼児から中学生まで課題があり高校生は自由とし応募した書を展示する	鶴岡書道会	前年度より、約50点程度少ない出品数(約820点)であった。しかし、生徒数が少なくなっている状況で、思ったより出品数があった事を嬉しく思う。入場者数は昨年と同数程度であった。	来年も多くの出品数・出品者数を見込みたいので、要項の配布時期を早める等の対応を行っていきたい。
32	劇団だいこん座 第82回公演 「川のほとりは今日も静かで」	大切な人に贈るオリジナル作品	劇団だいこん座	年々、劇団員の確保が難しくなつてきており、他劇団の皆様にも助けられながらの公演でした。内容的には、概ね好評でしたが、観客動員には課題が残った。宣伝も公演成功の要素として重要であり今年の反省点となった。	今年は脚本が早めに出てきた反面、出演者がなかなか決まらず、稽古もままならない状況があつた。また、宣伝も不十分で観る人が少なく、もったいないという意見もあつたので、この点などを来年度の改善点として取り組んでいきたい。

No.	公演名称	公演内容	実施団体	今年度実施しての反省点・感想	来年度への抱負・意見
33	ハウオリフラスタジオ 20周年記念公演 Me Ke aloha pumehana ～心から愛を込めて～	10歳から76歳まで総勢80人のダンサーで繰り広げる“心から愛を込めて”ハワイの風をお届けします！	ハウオリフラスタジオ	今年で3回目の市芸術祭参加。大きな舞台での公演は、とても貴重で、ダンサーにとっては幸せな時間を過ごす事ができた公演となった。	今後も鶴岡市芸術祭に参加できるよう、精進してまいります。
34	ミュージカル 「世界一の水族館 ～加茂水族館物語～」公演	閉館寸前だった加茂水族館が世界一の水族館となった話をミュージカルで	出羽庄内 市民ミュージカル若手塾	「世界一」となった加茂水族館の物語ミュージカルで若い世代に伝える目的で加茂水族館名誉館長と現館長に取材をお願いしてから一年、ジュニア世代が明るく元気に練習に参加、社会人メンバーも粘り強く準備にあたったお陰で、無事に公演にこぎつけました。プロと客演の方々の支えで、お客様のあつい拍手をいただいて、皆様に感謝。	来年度、R8年11月8日の荘銀タクト鶴岡での公演を目指して、頑張ります！
35	鶴岡剣聖会「剣と扇の舞」	「剣舞の勇壮さ詩舞の華麗さ」剣聖流の舞の魅力を2時間・20演目を通して観客の皆さまと楽しさを創る	剣聖流剣詩舞 鶴岡剣聖会	今回も2時間・20演目の発表であった。大勢の市民の方々の来場があり、昨年より舞がレベルアップしたとの声もきかれた。衣装・音響(歌い手)・映像(スライド)などを吟味し、観客目線で選んだ演目を、より効果的に演出する事ができた。	まもなく創流から半世紀を迎える。剣聖流剣詩舞を「鶴岡の文化づくりのひとつ」を合言葉に稽古に励み、内容を豊かにし、ステージと客席の方々と共に剣聖流剣詩舞の魅力と楽しさを「共感」できる発表会をつくっていききたい。
36	鶴岡土曜会混声合唱団 第74回定期演奏会	I 宗教曲 II 日本の合唱曲 III 企画ステージ	鶴岡土曜会混声合唱団	市芸術祭参加公演として、多くの来場者に合唱の魅力を届けることができた。とりわけ「唱歌の四季」や「赤とんぼ」では、涙ぐみながら耳を傾ける来場者の姿も見られ、合唱音楽が人の心に深く届いていることを実感する機会となった。	今後も市芸術祭への参加を通して、質の高い合唱活動を継続していきたい。地域の皆様に応援され、親しまれる合唱団であり続けることを目標に、演奏内容の充実と団の結束を大切に活動を進めていきたい。
37	スイング・クレインズ・ ジャズ・オーケストラ 第25回定期演奏会	ジャズオーケストラの演奏とゲスト歌手によるステージ	スイング・クレインズ・ ジャズ・オーケストラ	近年、コンサート会場に足を運んでくれるのは中高年層と関係者から聞いている。芸術祭の期間は秋で天候も不順、日没も早いので芸術祭の実施期間が変わったら・・・と考えた今回の機会であった。	「良かったヨ！」と言っていただけののが何よりの励みです。ゲストメンバーは皆、鶴岡ファンになってくれました。来年も良きサポートを得て、皆さんに喜んでいただける演奏会を開催したいと思う。
38	第23回バウムクーヘン オータムコンサート2025	各種音楽コンクールの受賞者や音楽の道を志す受験生、音楽を学んでいる大学生などによるピアノ・声楽・器楽演奏	バウムクーヘン	今年は、例年よりも遅い公演日だったため、出演者が出れなかったり、体調不良で欠席や審査の対象外で残念だった。出演した大学生をはじめ、各自研究していた音楽を大ホールで披露できて、とても良い機会だったと思う。	来年は、例年通りの日程で開催できることが決まったので、出演者や来場者を増やし、指導者(主催者)も更なる向上を目標としながら、出演者と一緒で成長した姿を見せられるようなコンサートにしたい。
39	鶴岡吹奏楽団 第40回定期演奏会	鶴岡吹奏楽団による吹奏楽の名曲やポピュラー曲等で送る演奏会 指揮:小塚 類	鶴岡吹奏楽団	来年は創団50周年を迎えるため、その前夜祭的な位置付けとした。1部で吹奏楽の名曲を、2部でジャズのスタンダードナンバーや映画音楽を披露した。老若男女問わず来場いただき、幅広い年齢層向けの演奏会となった。ご来場いただきました皆さま、誠に有難うございました。	これからも「鶴吹」の愛称で地域に根ざす社会人吹奏楽団として、吹奏楽の魅力を表現し、地域の吹奏楽の発展に貢献できるよう、より一層精進して参ります。

5. 各地域文化祭(芸術祭協賛事業)実施状況一覧

地域	事業名		実施日	会場	参加者 (出品者) 数	作品数	入場者 (延)数	
藤島	ふじしま文化フェスティバル	芸能発表部門	10/26(日)	藤島地区地域活動センター	71	17	203	
		第53回藤島芸術文化祭	展示部門	10/24(金) ~10/26(日)	藤島地区地域活動センター	73	193	166
		茶会 等	10/25(土) 民話の語り 10/26(日) 芸文茶会 10/29(水) 囲碁大会	民話: 藤島地区地域活動センター 茶会・囲碁: 藤島ふれあいセンター	15	—	116	
	第107回明治ホールコンサート	10/3(金)	東田川文化記念館明治ホール	—	—	115		
	第36回ふじしま音楽祭	11/1(土)	藤島地区地域活動センター	181	—	199		
羽黒	令和7年度 羽黒芸術文化祭	芸能発表会	11/2(日)	羽黒コミュニティセンター	139	18	227	
		作品展示	11/1(土) ~11/3(月・祝)	羽黒体育館	565	756	318	
櫛引	令和7年度 第57回くしびき文化祭	研修部門	10/4(土)	中山町方面	9	—	—	
		展示部門	10/31(金) ~11/3(月・祝)	櫛引生涯学習センター	545	724	611	
		発表部門	11/9(日)	櫛引生涯学習センター	148	—	250	
朝日	令和7年度 あさひ産業文化まつり	芸能発表部門	10/24(金) 10/25(土) 11/3(月・祝)	朝日中学校体育館 あさひ小学校体育館 朝日中央コミュニティセンター	237	25	300	
		作品展示部門	10/24(金) ~11/3(月・祝)	朝日中央コミュニティセンター	619	694	1,000	
温海	令和7年度(第42回)温海文化祭	ステージ発表	11/3(月・祝)	温海ふれあいセンター	100	17	263	
		展示部門	10/25(土) ~11/3(月・祝)	温海ふれあいセンター	379	654	1,638	

## 6. 各地域文化祭(芸術祭協賛事業)の反省点・感想と来年度への抱負・意見

地域	事業名	今年度実施しての反省点・感想	来年度への抱負・意見	
藤島	第53回藤島芸術文化祭	芸能発表部門	<p>藤島芸術文化協会の加入団体及び個人会員が日頃の練習の成果を存分に発揮し、例年通りの盛り上がりを見せた。また、3団体1個人よりゲストとして出演していただき、昨年よりも来場者数を伸ばすことができた。子どもたちの出演もあり、観客から大変好評だった。大きなトラブルもなく、進行もスムーズだった。</p>	<p>出演者、観客ともに減少傾向が続いている。子どもが出演する時間帯は家族が見に来るので観客が多いが、出番が終わると一斉に帰ってしまう。他の出演者のステージも見るよう各団体で呼び掛けてもらっているが、引き続き対策が必要。同時期に各地域の文化祭も重なっているため、集客に苦しんでいるが、地域の人(特に若い世代)が足を運んでくれるよう内容を工夫していきたい。</p>
		展示部門	<p>芸文協会員の作品のほか、藤島児童館より、子どもたちの作品を出展していただいた。また、準備・後片付けでは、会員の高齢化により人手が足りず、庁舎の職員で協力した。会員からは今後の開催に不安の声が上がっている。体験コーナー(書道・三味線・茶道)には、少数ではあったものの、昨年よりも多くの方に参加いただいた。次年度は広報地域版や文化フェスガイドでの周知に加え、市公式SNSの活用も検討したい。</p>	<p>出展数が減少傾向にあり、来場者の減少も懸念される。同時期に各地域の文化祭があり、児童や生徒の作品がそちらに出展されるため、集客にも影響している。年度当初から老人クラブや保育園、学校に掛け合うなどして、広く出展を募りたい。</p>
	第36回ふじしま音楽祭	<p>昨年度より出演団体は1団体減となったが観客数は増加した。要因としては観客を増やす対策として周知方法を見直し、独自のチラシを作成しPRしたことが挙げられる。来場者参加型の合唱も会場の多くの皆さまと一緒に歌ってくださるなど例年以上に盛り上がった。当日の運営については大きなトラブルもなく実施することができたが準備中に怪我をする事故が発生したので防止対策が必要である。</p>	<p>今年度に引き続きチラシを作成・配布するとともに、新規出演団体を増やすため公募枠を広げたり、地域の音楽団体に声がけを強化していく。また、マンネリ化脱却のため開会セレモニーを設けるなどプログラムの構成の見直しについて実行委員会で協議していく。</p>	
羽黒	令和7年度 羽黒芸術文化祭	芸能発表会	<p>昨年度出演団体数は同じだったが、昨年度に新規加入した団体の他、羽黒芸術文化協会以外の団体の出演もあり、新しい分野の発表に会場も盛り上がった。子ども達の発表もあり保護者などが多数来場した。また、各団体の日頃の練習の成果を発揮し、たくさんのお客に楽しんで頂くことができた。 団体の出演時間については、1曲の時間の確認、調整が必要だった。</p>	<p>来年度も多くの団体から出演してもらい、より多くの観客のもと、日頃の練習の成果を発表できるよう取り組む。また、団体の活動PRの場にする事で新規会員の取り組みに繋げる。</p>
		作品展示	<p>小学校の作品は、図画・習字等いずれかに出品されるよう配慮していただき全児童の作品を展示している。中学校からは絵画作品や、運動会で製作した大型の看板も出品していただき今年も展示した。また、羽黒高校書道部のレベルの高い作品も出品され、見ごたえのある展示となった。羽黒芸術文化協会会員を含めた個人等一般作品は、出品者数、出品数ともに昨年より少なかったものの、今まで参加したことのない個人からの絵画や手芸品などの出品もあり充実した内容となった。 地域の方々から数多くの作品を出品していただけるよう、早い段階で声掛けをお願いします。</p>	<p>小中学生の人数の減少や出品者の高齢化により出品数が減少傾向となっているが、児童生徒や地域住民の作品を鑑賞する良い機会であり、今後も広く周知を図る。 また、羽黒地域で活動しているサークル等へ呼びかけるほか、地域住民からより多くの出品が得られるよう早めの出品依頼に務める。</p>

地域	事業名		今年度実施しての反省点・感想	来年度への抱負・意見
榎引	令和7年度 第57回くしびき文化祭	研修部門	中山町の歴史民俗資料館や国内最古級の鉄道橋、そして高度な維持管理技術と先進性が光る国指定重要文化財「旧柏倉家住宅」などを巡り、最上川舟運が育んだ豊かな歴史と先人の知恵を深く理解する大変有意義な機会となった。	地域住民の歴史文化に対する見聞を広めるとともに、郷土が誇る文化財を次世代へ繋いでいき、魅力的に継承していくための活動に取り組んでいきたい。
		展示部門	黒川の遠藤正昭氏による日本画展を中心に、ロビーの生花や控室のつる編みバッグ、さらには多目的ホールを埋め尽くした各世代や福祉施設による書道・手工芸などの力作が並び、地域文化の層の厚さを感じる見事な展示となった。	地域の子供達や住民、福祉施設の入所者による豊かな作品展示を通し、多世代間の交流と相互理解の輪を広げ、地域全体が表現する喜びと感動で満たされる場を作っていきたい。
		発表部門	初参加団体2つを含む計9団体が出演した。西小金管バンド「響」の華やかな幕開けから全国レベルの合唱、会場が一体となった丸岡どんづき保存会のどんづき奉納やスポーツクラブうたごえ喫茶の合唱まで、子供から大人までが世代を超えて輝く素晴らしい発表の場となった。	年々参加団体が減っているため、初参加団体の定着や新たな参加団体の確保をしていきたい。また、日ごろの練習の成果を発表する場を住民の方と協力しながら作っていきたい。
朝日	令和7年度 あさひ産業文化まつり	芸能発表部門	10月24日の朝日中学校合唱祭では、学年ごとの迫力ある歌声、美しいコーラスが響き、10月25日のあさひ小学校学校祭では、学年ごとにダンス、劇、合奏、合唱の発表がありそれぞれ聴衆を魅了した。 11月3日には、朝日芸術文化協会の加盟団体等による11組11演目の芸能発表が行われ、和太鼓や、舞踊、詩吟、コーラス、ダンスなどの発表を、出演者、観客ともに楽しむことができた。また、今年度は朝日芸術文化加盟団体の他に3団体の出演があり盛り上がりを見せた。	地域のサークルや団体が日頃の成果を発表し、地域住民が文化活動に触れる良い機会であるため、さらに充実したステージとなるよう努めていきたい。 年々発表数が減少傾向にあるため、発表数の確保が課題となっている。また、あさひ小学校学校祭と朝日中学校合唱祭は、あさひ産業文化まつりのプログラムに加わっており、小中学生の学習の成果を地域住民に披露、鑑賞してもらおう貴重な機会となっている。
		作品展示部門	今年度も書道・絵画・俳句部門に小中学生ほぼ全員から出品があり、児童・生徒の作品の鑑賞に家族等の来場者も多かった。 また、俳句・短歌・川柳合同展や、写真、生け花、創作品等の展示など多彩な作品展示を行うことができた。	小中学生の人数の減少などにより出品数が減少傾向ではあるものの、小中学生が学習の成果を発表し、地域住民がその作品を鑑賞する良い機会であり、今後も各学校と連携を取りながら取り組んでいきたい。また、一般の作品についても朝日芸術文化協会の加盟団体等と協力しながら、広く地域の方々からの出品が得られるよう努めていきたい。
温海	令和7年度 (第42回)温海文化祭	ステージ発表	令和6年度よりステージ数2・出演者数32名増の、12団体・2個人による17ステージで実施し、うち1個人・2団体より今年度はじめて参加していただくことができた。 また、昨年度と比べ出演者は増えたが、観覧者は少なかった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別企画が好評だったので、来年も内容を充実させて実施する。</li> <li>・子どもたちの日頃の頑張りを発表する場として、作品展示部門やステージ発表に参加してもらえるような工夫をする。</li> <li>・展示方法を見直し、見やすく、来場者同士が交流できるようなレイアウトを検討する。</li> <li>・お茶会の開催方法やお茶券の値段を再度検討する。</li> <li>・住民の創作活動の発表機会として、来場者を増やすために広報活動に力を入れる。</li> </ul>
		作品展示部門	少子高齢化の影響もあり児童生徒の作品が少なくなっており、寂しいとの声が聞かれる。出品数・出品者数ともに減少したが、絵画や吊るし飾り、焼き物など、展示された作品はどれも素敵なものばかりだった。	
		お茶会、 作品販売部門 特別企画 ※11/3のみ	お茶会では66席販売し、来場者は普段なかなかできない貴重な体験を楽しんでいた。 作品販売部門では、3団体・7個人より、手芸・工芸作品や飲食物などを販売いただき、文化祭を盛り上げていただいた。 特別企画では、縄ないやあやとり、バルーンアートが行われ、子どもから大人まで幅広い年代の交流がみられとても賑わった。	

## 7. 鶴岡市芸術祭参加公演数等の推移

### 参加公演

年度	鶴岡市芸術祭					県民芸術祭		参加公演数 地域別内訳						
	回数	参加公演数	参加団体数	参加者数	入場者数	参加公演数	参加団体数	鶴岡	藤島	羽黒	櫛引	朝日	温海	
平成18年度	第1回	39	54	4,224	34,689	17	23	39						
平成19年度	第2回	44	61	4,440	36,505	26	38	39	2			3		
平成20年度	第3回	49	68	4,586	41,649	26	38	42	1	1	2		3	
平成21年度	第4回	46	67	4,369	36,421	32	46	39	3	1		1	2	
平成22年度	第5回	47	67	4,010	35,874	31	43	41	2	1		1	2	
平成23年度	第6回	44	63	3,748	31,984	26	38	38	2	1		1	2	
平成24年度	第7回	46	63	3,411	31,277	33	46	40	2	1	1	1	1	
平成25年度	第8回	46	66	3,569	34,556	31	43	40	2	1	1	1	1	
平成26年度	第9回	39	49	3,327	24,962	27	36	34	1	1	1	1	1	
平成27年度	第10回	42	51	3,316	25,050	26	32	37	1	1	1	1	1	
平成28年度	第11回	45	55	3,351	23,129	29	38	41	1	1		1	1	
平成29年度	第12回	42	52	3,266	22,688	27	35	39		1		1	1	
平成30年度	第13回	40	49	3,223	24,782	26	34	37		1		1	1	
令和元年度	第14回	42	51	3,070	24,309	28	36			1		1	1	
令和2年度	第15回	※市・県ともに新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止							※中止のため参加なし					
令和3年度	第16回	28	30	1,975	11,940	17	19	26				1	1	
令和4年度	第17回	35	44	2,481	16,087	22	30	32		1		1	1	
令和5年度	第18回	38	45	2,150	18,544	22	29	34	1	1		1	1	
令和6年度	第19回	40	47	2,373	18,836	27	34	37		1		1	1	
令和7年度	第20回	42	47	2,289	17,658	26	31	39		1		1	1	

### 第20回鶴岡市芸術祭における施設別公演等開催状況

施設名称	参加公演数	参加団体数	参加者数	入場者数	備考(参加公演数内訳)
①中央公民館	13	13	375	2,865	展示(2)・公演(11)
②荘銀タクト鶴岡	8	8	379	4,558	公演(8)
③アートフォーラム	12	15	1,207	8,022	展示(10)・茶道(1) 公演(1)
④市内の上記以外公共施設 (図書館・コミセン・黒川能伝習館・国際村)	6	8	280	1,708	展示(1)・公演(1) 文芸(3)・茶道(1)
⑤その他(民間施設等)	3	3	48	505	公演(1)・展示(1)・茶道(1)
合計	42	47	2,289	17,658	

協賛事業(地域文化祭)

	鶴岡市 芸術祭	藤 島		羽 黒		櫛 引		朝 日		温 海	
		参加者数	入場者数	参加者数	入場者数	参加者数	入場者数	参加者数	入場者数	参加者数	入場者数
平成18年度	第 1 回	211	1,200	1,287	2,200	1,317	1,774	1,247	1,700	1,003	1,990
平成19年度	第 2 回	172	1,200	1,000	1,390	866	2,022	1,254	1,900	1,164	2,200
平成20年度	第 3 回	636	1,360	915	1,200	809	1,755	1,135	1,900	1,032	2,350
平成21年度	第 4 回	678	1,451	965	727	708	1,692	1,034	2,000	1,138	2,200
平成22年度	第 5 回	705	1,545	1,038	1,146	794	1,665	766	1,950	1,063	2,300
平成23年度	第 6 回	674	1,820	1,224	941	672	1,482	639	1,850	965	2,500
平成24年度	第 7 回	639	1,930	1,022	893	702	1,229	701	1,850	993	2,500
平成25年度	第 8 回	639	1,780	1,022	995	721	1,110	701	1,850	979	2,200
平成26年度	第 9 回	529	1,700	1,024	842	671	1,289	872	1,705	905	2,200
平成27年度	第10 回	516	1,780	957	728	638	1,340	1,205	1,800	779	1,800
平成28年度	第11 回	489	2,470	949	800	698	1,111	1,193	2,250	891	2,250
平成29年度	第12 回	517	2,270	1,062	740	664	1,287	1,213	2,100	644	2,250
平成30年度	第13 回	522	2,605	1,005	920	694	1,451	1,439	1,800	703	2,250
令和元年度	第14 回	693	2,600	1,013	870	675	1,659	1,318	1,700	553	1,400
令和2年度	第15 回			※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止							
令和3年度	第16 回	383	360	※コロナで中止		184	1,350	758	700	851	1,420
令和4年度	第17 回	336	302	784	457	596	917	912	1,300	611	1,397
令和5年度	第18 回	354	587	731	551	715	828	1,055	1,700	559	3,225
令和6年度	第19 回	308	583	759	611	764	1,164	955	1,600	470	3,180
令和7年度	第20 回	340	799	704	545	702	861	856	1,300	479	1,901

## 8. 記念事業など

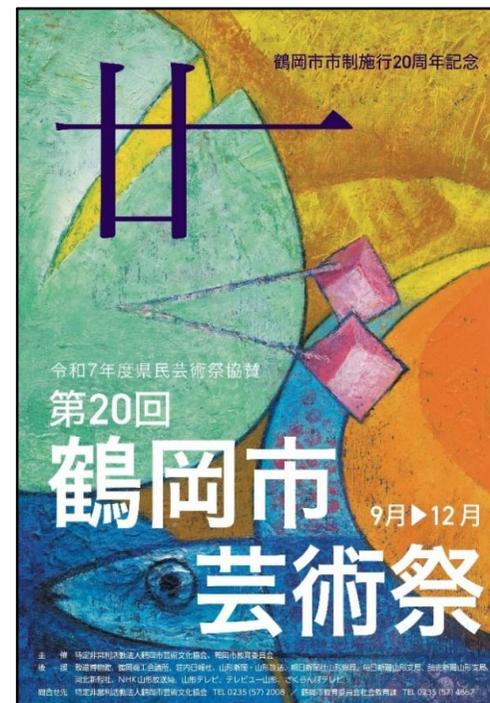
年度	芸術祭回数	分類	公演名等
平成24年度	第7回	賛助公演	第49回現代舞踊合同公演(主催:社団法人 現代舞踊協会東北支部)
平成25年度	第8回	特別参加事業	鶴岡市芸術文化協会創立50周年記念事業 ～ありがとう!明日にむかって～ (主催:鶴岡市芸術文化協会) ◎総合舞台『美しい山河 ここに生命輝く』 ◎総合芸術展『文化と伝統・自然の香り豊かに』
平成27年度	第10回	イベント	第10回鶴岡市芸術祭記念イベント「まちなかアート鶴岡」
		協賛事業	鶴岡市合併・市制施行10周年記念事業 鶴岡市芸術祭協賛事業 地域文化祭交流ステージ(展示) 藤島:錦心流琵琶全国一水会鶴岡支部、羽黒:黄雞鶴岡歌会、櫛引:鶴岡吹奏楽団、朝日:白甕社、温海:鶴岡竹友会
平成28年度	第11回	関連イベント	第36回全国豊かな海づくり大会協賛イベント 「海づくりアート鶴岡」～海・山・川～今年も響くアートの風! (主催:全国豊かな海づくりアート実行委員会)
平成29年度	第12回	関連イベント	第3回まちなかアート鶴岡 (主催:市民アート実行委員会)
平成30年度	※第56回 県民芸術祭	記念事業	平成30年度 第56回県民芸術祭開幕事業 【H30年9月2日(日) 荘銀タクト鶴岡 エントランスホールおよび大ホール】 ◆オープニングセレモニー <展示・呈茶・歓迎アクション> エントランスホール 10:00～ ◆開幕式典および開幕記念公演 総合舞台『水のファンタジー いのちの輝き』 大ホール 13:30～ 主催:山形県・(公財)山形県生涯学習文化財団・山形県芸術文化協会 鶴岡市・鶴岡市教育委員会・特定非営利活動法人 鶴岡市芸術文化協会
	第13回	賛助公演	第14回洋舞合同公演【H30年7月29日(日) 荘銀タクト鶴岡】(主催:山形県洋舞協会)  2018年全日本大正琴振興会全国大会 【H30年9月15日(土) 荘銀タクト鶴岡】 (主催:2018全日本大正琴振興会全国大会実行委員会)
令和元年度	第14回	賛助公演	現代舞踊協会東北支部 第56回「現代舞踊合同公演」【R元年9月22日(日) 荘銀タクト鶴岡】 (主催:一般社団法人 現代舞踊協会東北支部)
令和2年度	*第15回 芸術祭は中止 (コロナ感染拡大防止 の観点より)	主催事業	鶴岡市民芸術フェスタ2020～伝統を引き継ぎ新しいステージを創る～ 【R2年10月25日(日) 荘銀タクト鶴岡 大ホール】 〔出演36団体(加盟14・一般22) 出演者数:のべ500名〕  (主催:鶴岡市芸術文化協会 共催:鶴岡市教育委員会)
令和7年度	第20回	記念事業	鶴岡市市制施行20周年記念 第20回鶴岡市芸術祭開幕行事(式典・公演・記念講演・展示) 【R7年9月6日(土) 荘銀タクト鶴岡 大ホール、エントランス】 ◇記念講演「講師:石澤 典夫 氏(元NHKエグゼクティブ・アナウンサー) 講演テーマ ～芸術文化との出会いが人生を豊かにする～」 (主催:鶴岡市芸術文化協会 ・ 鶴岡市教育委員会)

《主催》

鶴岡市教育委員会  
特定非営利活動法人 鶴岡市芸術文化協会

《後援》

致道博物館  
鶴岡商工会議所  
荘内日報社  
山形新聞・山形放送  
朝日新聞山形総局  
毎日新聞山形支局  
読売新聞山形支局  
河北新報社  
NHK山形放送局  
山形テレビ  
テレビユー山形  
さくらんぼテレビ



ポスターデザイン  
白甕社 齋藤 拓氏

第20回(令和7年度)鶴岡市芸術祭参加公演総括表  
(令和8年2月作成)

特定非営利活動法人 鶴岡市芸術文化協会